

第6期 第7回船橋市ボランティア運営協議会 団体支援部会活動報告書

	令和5年度											
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
団体支援部会日	第10回(4/20)	第11回(5/11)	第12回(6/8)	第13回(7/13)	第14回(8/10)	第15回(9/14)	第16回(10/12)	第17回(11/9)	第18回(12/14)	第19回(12/11)	第20回(2/8)	第21回(3/14)
①市民大学との連携	受入れ団体の募集 プレゼン資料作成 9/20 マッチング会 実地体験											
②プレゼンテーションのスキルアップ	9/3基調講演(サポートセンター) 11/9自己診断結果の解説											
③プロボノの調査、設立の検討	10/21説明会(サポートセンター)											
④参加団体の問題点等について情報の収集・検討	昨年度で終了											
「活動内容(3ヶ月間)」	「周知事項」											
1.市民大学との連携	「検討課題」											
①市民大学生(ボランティア養成学科)と市民団体とのマッチングでボランティア体験に参加した学生の内訳は、現在市民大にて集計中。 団体支援部会委員の属するNPO法人シビルまちづくりステーションで5名、NPO船橋レクリエーション協会では、4名との報告があった。 市民大学ではボランティア体験者にレポート提出を義務づけており、他団体への参加者はレポートを基に今後確認を行う予定。												
②いきいき学部共通講座を市民協働課との共催で10月4日に市民団体活動紹介を文化ホールで行った。 来年度の共通講座は市民活動/協働、プロボノ(特にワーカー募集)、市民活動紹介を行う。												
③まちづくり学部修了生(OB)を対象に、市民大が発送する修了後アンケートに「ふなばし情報メール」登録の周知文を同封する。												
2.団体のスキルアップ(基調講演)												
9月3日に実施した認定NPO法人藤沢市民活動推進機構理事長(手塚明美)による講演会にて17項目による自己診断の設問が提示された。 後日自己診断を希望した3団体の診断結果解説と今後の活用方法等を11/9のZoom会議で手塚講師から説明して頂いた。 自己診断の17項目はふなばし市民力発見サイトブログに投稿している。 「Zoom会議参加団体」; NPO法人シビルまちづくりステーション/丸山サンクチュアリ/世界のともだちホームスタート・しゅっぽぼ												
3.プロボノに関する検討												
10月21日に行った「プロボノin説明会」後に4団体が興味を示し2団体が「ふなボノ」に登録を実施する。登録団体は、「NPO法人発達障害支援ネットワークELL」、「スペシャルキッズプロジェクト」があり、支援内容が2団体ともホームページ作成、立上げと共通テーマである。 登録後1週間程度でマッチングが成立し、12月には成果物納品、完了予定である。実施状況はワーカーが経験者でありスムーズに進み、また支援内容が明確であった事も要因と考えられる。実際の活動はキックオフミーティングから全てOnlineで実施。 今後は船橋市プロボノの実施例として実施者のヒアリングを踏まえて各種広報手段(地域新聞、船橋よみうり、SNS等)を検討していく。												
4.ボランティア体験(市民活動ボランティアスタートアップ制度,https://funabashi-civilpowers.net)												
毎年夏に実施している中・高・大学生対象の「ふなばし夏のボランティア体験」以外にも、一般市民を対象としたボランティア参加をWebにて募集を12月より開始を行う。受入れ団体はサポートセンター登録団体とする。												